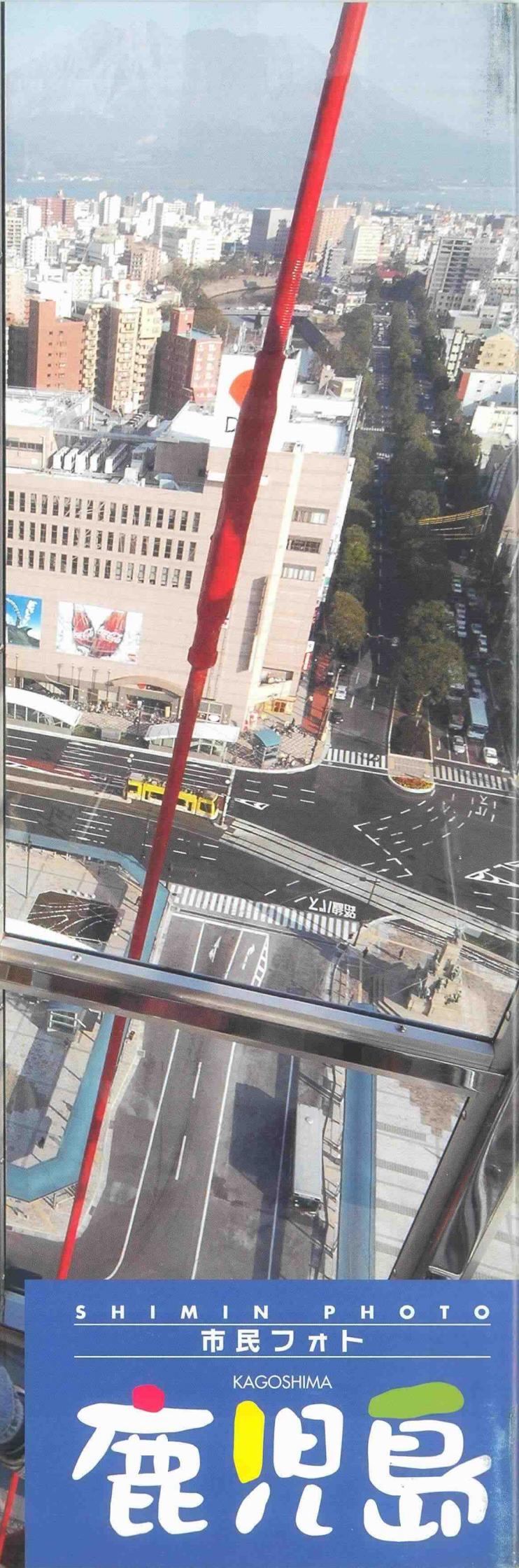


NO.99

平成17年1月1日発行



SHIMIN PHOTO

市民フォト

KAGOSHIMA

鹿児島

屋外のオブジェ

Outdoor Object



【桜島フェリー就航70周年記念モニュメント】

～桜島港フェリーターミナル付近～

CONTENTS

【特集】鹿児島新景 3

クローズアップ 12

中間貴子さん

学校探訪 14

吉田北中学校

カメラトピックス 16

ハロー鹿児島 18
ダニエル・アレクサンダー・ジョンソンさん

私の好きな場所 20

大岳水一路さん

ふるさと再発見～史跡編～ 22

東郷平八郎像

あなたのフォトサロン 24

松陽高等学校美術科写真専攻生徒作品

よかタイム 26

前田孝さん

街角ウォッチング 27

喜入中名町

わが家の味じまん 28

弟子丸さんファミリー

館のたからもの 29

鹿児島女子高等学校

わが町上空 30

桜島支所周辺

★表紙写真説明

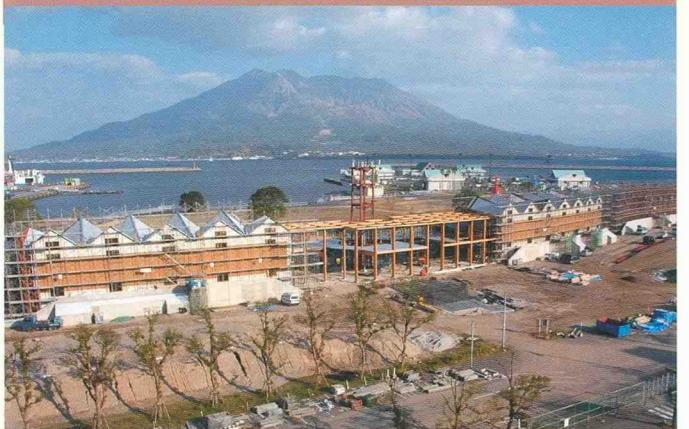
「わあーすごいね」。子どもたちはちょっと興奮気味です。観覧車からの眺めは新鮮。（鹿児島中央駅、ビル屋上の観覧車から）

鹿児島 新景



新幹線の開業、1市5町の合併…。
人が動き、街の表情は日々刻々と変化しています。
今回は、変わりゆく街の姿や合併で加わった新しい鹿児島市の風景などを紹介します。

変化の兆候



変わり続ける街並み

本港新町に建設中の商業施設「鹿児島ウォーターフロント」が、今年3月の完成、4月の開業を目指し、工事が着々と進んでいます。物販や飲食店などのテナントが入居し、新しい観光名所、コミュニティスペースとなることでしょう。



点を線、面にして 地域おこしに 期待します

名山町のホテル専務
永野 良隆さん

この辺は今まで水族館しかなかったんですよ。でも鹿児島ウォーターフロントとNHK放送会館ができると、水族館で学習、その後NHK会館で遊び、ウォーターフロントの施設でおみやげを買ったり食事をしたりして、一つの動線ができると思います。今は、それぞれの場所が点になっているから、線にそして、面にして地域おこしにつながっていけばと思います。北埠頭で定期的にイベントを行っていただくことで、市役所前の通りも人が多くなることを期待します。

今後、もっと錦江湾を楽しめる施設が増えてほしいと思います。

西鹿児島駅から
鹿児島中央駅へ
大きく変わった
玄関口

一番街の青果店（中央町）
山之口 ユリ子さん

終戦後から果物屋をしていて、昭和45年に一番街へ移ってきました。駅舎も変わつて周辺も整備され、明るくなつてありがたいですね。以前は夕方になると人通りが少なくなつていいたけど、多くなつて随分にぎやかになりましたよ。

また、県外の人も多いですよ。道や観光地を聞かれることが多くなりました。

西鹿児島駅から鹿児島中央駅に名前を変え、「陸の玄関口にふさわしいにぎわいの場」と地元の人々が望んだ駅ビル「アミュプラザ」が開業しました。新幹線とアミュプラザの開業、その屋上にある観覧車「アミュラン」の操業開始で、鹿児島中央駅周辺の街並みは一変しました。在来線を挟んだ西口も整備され、飲食店が増え、若者の姿も多くなり、活気があふれています。

西鹿児島駅から鹿児島中央駅に名前

を変え、「陸の玄関口にふさわしいにぎわいの場」と地元の人々が望んだ駅ビル「アミュプラザ」が開業しました。新幹線とアミュ

線で人の流れが変わり、新幹線とアミュ

プラザの開業、その屋上にある観覧車「アミュラン」の操業開始で、鹿児島中央駅周辺の街並みは一変しました。

【特集】鹿児島新景

5 | 【特集】鹿児島新景

4



桜島
地域

桜島フェリー



桜島から見た夜の錦江湾と市街地

鹿児島市街地と桜島間を運航し、人々の生活、観光の足として桜島フェリーが就航して昨年で70年。いつも噴火するか分からぬ桜島に住む子どもたちに、独り立ちできる教育を身につけさせようという思いから、鹿児島市への通学船として、また桜島大根などの農産物を鹿児島市で売るため、木造船14隻を買いました。1人15銭で運航を始めたのが昭和9年、村営桜島フェリー（当時）が誕生しました。現在の運賃は、大人150円、子供80円、乗用車1台1070円（4m未満）です。



ごだわりの
料理と景観

国民宿舎
レインボーサクラ

桜島フェリーターミナルから5分ほど歩くと「国民宿舎レインボーサクラ」があります。マグマ温泉、レストランがあり、レストラン「アルコバレー」ではイタリアンと和食がアレンジされ、旬の味わいと鹿児島ならではの食材を使った、おいしく楽しいメニューがいっぱいです。



牟礼ヶ岡の高台で風を受ける風力発電の風車

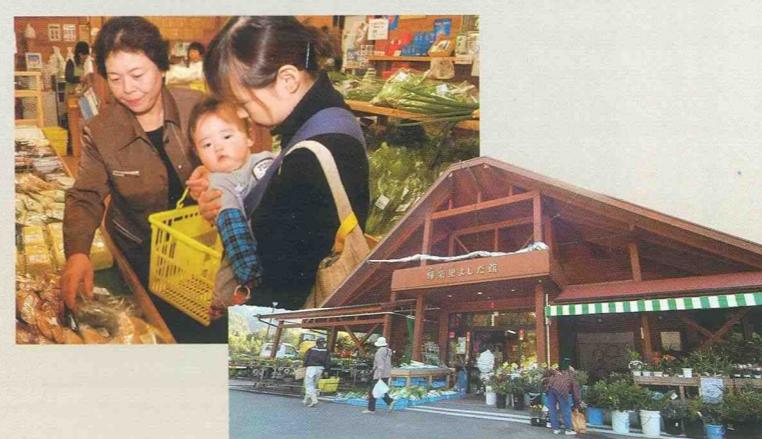
吉田
地域

牟礼ヶ岡の風車群



石畳が整備された白銀坂

吉田地域にある牟礼ヶ岡の山には8基の風車が見えます。牟礼岡ウインドファームと名づけられた風力発電設備は、地元の民間企業が中心となつて南九州で風力発電事業を行うため、総工費21億円をかけて設置しています。宮之浦町にあり、「牟礼ヶ岡」の標高約500mの高台にあり、風車の直径は60m、回軸までの高さも地上から60mに及ぶ大規模なもので、それが林立するさまは、新たな観光スポットになるのではと期待されています。



市街地と蒲生町を結ぶ県道25号沿いにあり、多くの来館者でぎわう農林産物展示販売所「輝楽里よしだ館」。吉田地域内で生産された野菜や、ニガウリ（レインシ）を加工した乾燥レインシなどの特産品を販売しています。

新鮮な
特産品の宝庫

輝
樂
里
よ
し
だ
館



楽しみながらも真剣に練習に励む子どもたち

松元
地域

松元平野岡体育馆



温泉施設も併設された体育馆



入佐の田の神



茶の生産が全国で第2位の鹿児島県。その中でも松元地域は、栽培面積が約300haで、約600戸の農家が茶を栽培しています。また、昔ながらの手のみ茶技術、全国でも珍しいハンズ（井戸水をくみ置きする壺）を使った釜いり茶などを伝承し、良質のお茶づくりに努め、市場でも高い評価を得ています。

**昔ながらの
手のみ茶技術を伝承**

茶畠

健康づくりやレクリエーションなどに活用されている松元平野岡体育馆・運動場。温泉施設もあります。体育馆では年間を通していろいろな室内競技が行われています。特に松元地域では卓球が盛んで、大人から子どももまで楽しんでいます。

また周辺には芝生のグラウンドやテニスコート、アスレチック、グラウンドゴルフ場、草スキー場などもあり、家族で楽しむことができます。



錦江湾に向かって広がるアオノリの養殖網

喜入
地域

アオノリの養殖



近くには巨大な石油タンクが並ぶ

鹿児島市街地から国道226号を指宿方面へ向け、錦江湾沿いを南下する途中、石油タンク手前の海辺に棒がたくさん立っています。よく見ると網が張つてあります。アオノリが生えています。それがアオノリの養殖です。

喜入地域では4ヵ所の海辺で、12人が養殖を行っています。生産者は潮の満ち引きを見ながら、手入れに余念がありません。

今年は暖冬で生育がよくないようですが、寒さが増す1月ごろ出荷の最盛期を迎えます。

マリンピア喜入
潮風がさわやかな
健康プラザ

石油タンクを過ぎると「マリンピア喜入」があります。

マリンピア喜入は、うたせ・寝風呂・サウナなどを備えた温泉を楽しめる「喜入八幡温泉保養館」、全長53mの一部屋外を滑るユニーカなウォータースライダーもある「喜入室内温水プール」、全面芝生の多目的広場などが整備されており、「道の駅喜入」として、国道226号を利用する多くの人々に親しまれています。

**健康づくりに楽しく
気軽に利用**

喜入瀬々串町
浜田 譲さん・幸江さん夫婦



神戸から喜入に帰ってきて1年になります。週に2~3回、健康づくりのために楽しく利用しています。



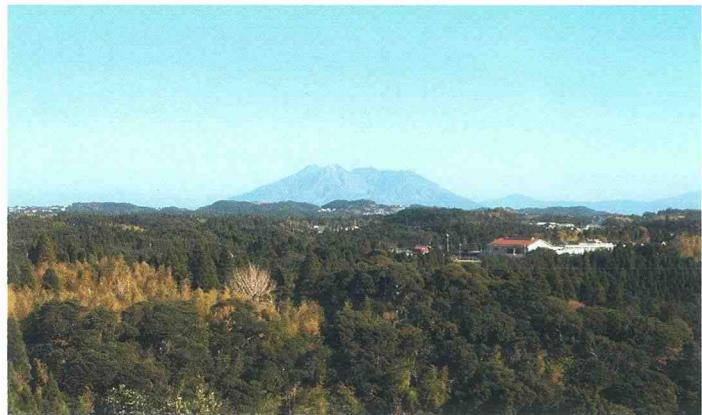


旧1市5町から見た桜島

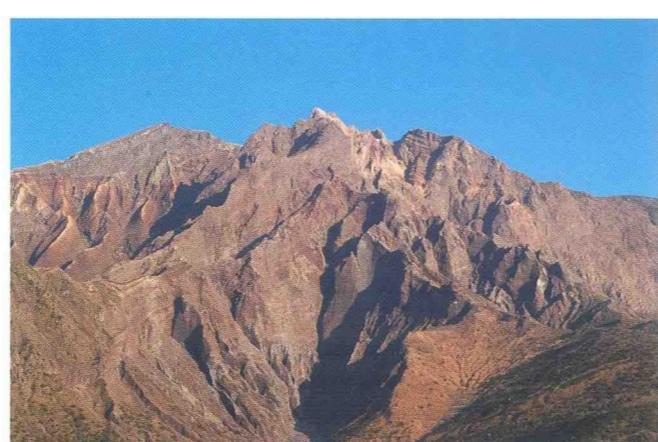
桜島が伝えるものは変わらない



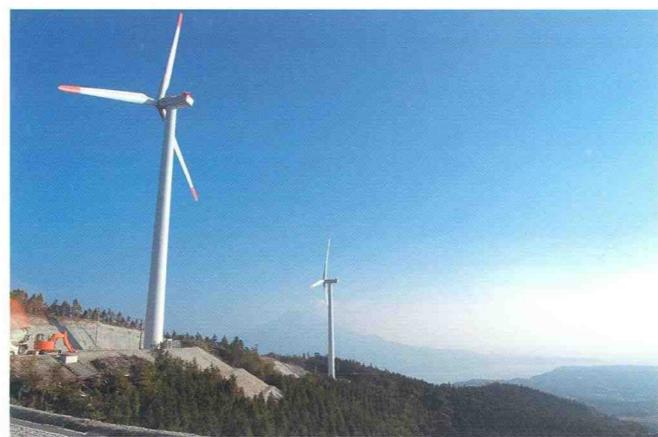
八重山公園から(郡山)



お伊勢岡公園から(松元)



湯之平展望所から(桜島)



牟礼ヶ岡から(吉田)



喜入综合运动場付近から



城山から



細かな彫刻と装飾が日光東照宮に似ている

郡山地域 さつま日光と称される花尾神社



段々に広がる棚田

約800年もの歴史を持ち、現在の社殿は正徳3年（1713年）の建造で、別名「さつま日光」と呼ばれています。極彩色の権現造りの社殿には、400余枚の草花の天井絵が描かれ「日光東照宮」の雰囲気が漂います。

花尾神社は、藩祖島津忠久公が薩摩・大隅・日向三州の守護職に任命され下向したおり、建保6年（1218年）、父源頼朝公の尊像を花尾山のふもとに安置したのが始まりと言われています。

山あいに開けた古い歴史を誇る郡山地域。その象徴ともいえるのが、花尾神社です。

郡山地域。その象徴ともいえるのが、花尾神社です。

郡山総合運動場と同じ場所にありひときわ目を引く建物が「スパランド裸・楽・良」。心と体の元気補給基地をテーマに作られた温泉活用型健康増進施設です。水着で入るスパゾーンを中心に、温泉、レストラン、トレーニングジム、宿泊施設などがそろっています。

心と体の元気保給基地



**スパランド
裸・楽・良**



曲の魅力が伝わる
音色で聴く人を
引きつけたい

4本のマレット(ぱち)が軽やかに鍵盤の上で跳ね、レッスン場に柔らかで重層的なマリンバの音色が響く。演奏しているのは中間貴子さん。鹿児島でも数少ないマリンバ奏者で、打楽器アンサンブル「フォーマレツツ」の中心的存在だ。

一 教え子たちとアンサンブル結成

中学生のころ、「打楽器の中でもリズムだけでなく、音階があるところにひかれて」木琴の一種であるマリンバを始めたという中間さん。

マリンバはマレットの固さによって微

—教え子たちとアンサンブル結成

教え子たちとアンサンブル結成

中学生のころ、「打楽器の中でもリズムだけでなく、音階があるところにひかれて」木琴の一種であるマリンバを始めたという中間さん。

マリンバはマレットの固さによって微

妙に音が変化する。やわらかい響きから弾けた感じまでその音色の幅広さにも引きつけられた。

高校、大学では東京や熊本にレッスンに通い、その後、高校や自宅で打楽器の指導にあたる。

その教え子が、右田絵梨子さん、川久保あかねさん、野元麻美さんというフォーマレツツのメンバーだ。

結成のきっかけは5年前の正月。

「中間さんのお宅で一緒にマリンバのCDを聴いていたんです。その演奏がすばらしくて」(右田さん)

『かつこいいね』『自分たちでグループをつくつてやろうよ』とどんどん話が

指導者との出会いと 厳しいレッスン

「盛り上がりがつて」(川久保さん)
その勢いで結成。
「メンバーにとつて桜島的存在」
(野元さん)という中間さんを中心、幼稚園、学校などでの演奏会、自主コンサートと活動を重ねていく。

指導者との出会いと 厳しいレッスン

2002年、世界的なマリンバ奏者小森邦彦さんとの出会いで中間さんたちの活動は新たな段階を迎える。
「鹿児島に来ていた小森先生の指導を見て、絶対にこの先生に習いたい、と。私個人としても春の新人賞受賞記念リ

メンバーの熱意に小森さんが応え、月1回東京から先生を迎えてのレッスンが実現する。

小森さんの目標設定は高く、課題のレッスンに精一杯だが、それぞれ仕事や学業、家事をこなしながら、「それ以外の時間とエネルギーはすべて注ぎ込んでいます。どうして続いているのか自分でも時々わからなくなるくらい。でも、

「サイタルのための新たな曲目とさら
上の演奏を求めていました」。

A person's hands are shown playing a marimba. The left hand holds a mallet over a white key, while the right hand holds a mallet over a dark brown key. The marimba has several white and dark brown keys. The background is a plain, light-colored wall.

A photograph showing four women from the waist up, all wearing matching patterned dresses and smiling as they play marimbas. The marimbas are wooden instruments with black mallets. The background is a plain, light color.

Close Up

中間 貴子さん

13歳から打楽器を始める。
1989年、ミシガン大学へ留学。
帰国後リサイタルを開催するなど活発な活動を展開。2001年度、鹿児島市春の新人賞受賞。現在は打楽器アンサンブル「Four Mallets(フォーマレツツ)」での活動を中心に自主コンサートや学校、幼稚園などの演奏会などを行っている。



フォーマレッツのメンバー、左から右田さん、川久保さん、中間さん、野元さん

高い目標で鹿児島から発信

小森さんの提案で2003年には

福岡、熊本での公演を行つた。やりたい
という気持ちが先。後先考えずに突き
進んでしまいました」。

無謀ですよね、と届託なく笑うが、メンバーのだれもがその場限りの夢にはしない、なつかしこのごとく。

「鹿児島、東京、ニューヨーク。どこへ行つても恥ずかしくないプログラムと演奏を」という目標を立て、現在は8月に

鹿児島で行うコンサートに向けて取り組んでいる。

「マリンバはマレットによつて音が変わるので、その曲の魅力をいちばん表現できる音を出せるようになりたい。

また、マレットを4本持つて演奏すると、そのアクロバティックな動きにお客さんの目がいきがちなんですが、聴く人を音楽そのものに引きつけるような演奏をしたい。まだまだなんすけどね、と

中間さんは笑う
しかし、強く願う気持ちと行動力、
そして何にも負けないとびきりの明る
さが、きっと彼女たちをその高みに導く
ことだろう。

みどりタイム



良心の芽が育ち
青春の花が咲く



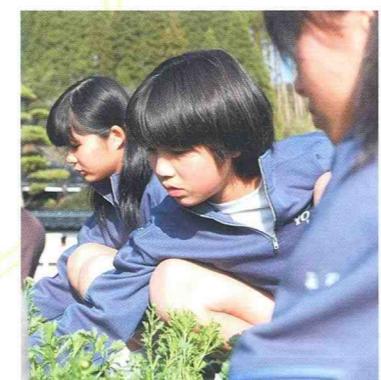
土づくりもお手のもの



学校環境緑化コンクール上位の常連校



総合学習の時間「みどりタイム」。毎月、土を作り、花を育てる



四季折々の花が咲き誇る学びや



吉田の里を庭として
空を学びの窓とする



吉田北中学校



北の文字をデザインした校章。
市内の中学校で最も北に位置する



先生、ここ英語で何て言うんだっけ

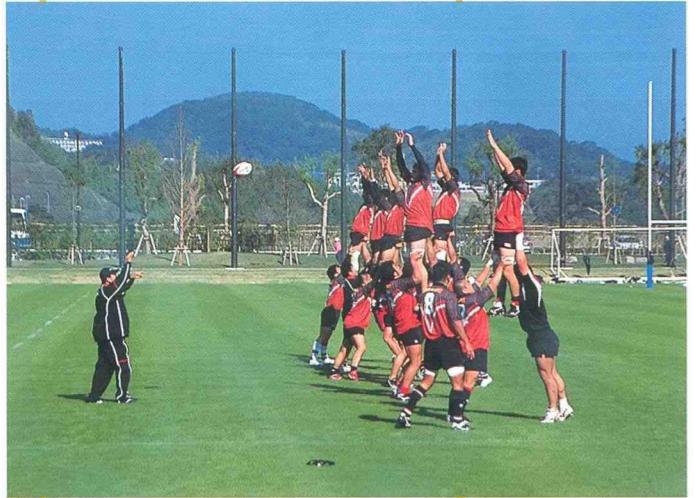
学力向上
フロンティア
スクール
～公開授業～



緊張の中にも楽しい授業

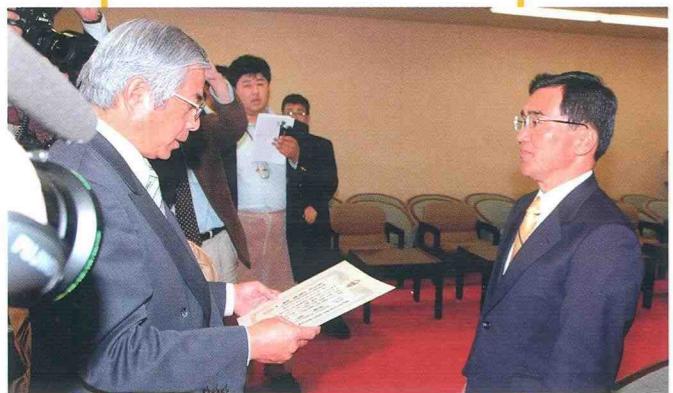


文部科学省の学力向上フロンティアスクール指定校。
習熟度別授業や補充学習などの研究公開授業が行われ
る県内各地から多くの先生が詰めかけた



11月18～26日
東芝府中ブレイブルーバス
鹿児島合宿

日本選手権を制覇し、現在ラグビートップリーグ第1位の「東芝府中ブレイブルーバス」がオープンして間もない鹿児島ふれあいスポーツランドで合宿を行いました。

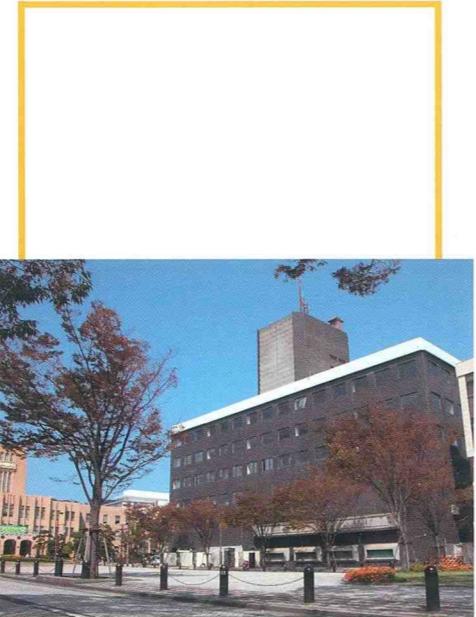


11月29日
市長選挙、市議会議員増員選挙(旧5町)
当選証書交付

11月28日に行われた市長選挙、市議会議員増員選挙で選ばれた新市長、新議会議員に当選証書が手渡されました。



12月
鹿児島中央駅前広場の夜景
今年は鹿児島中央駅前広場にもイルミネーションが設置されました。(1月31日まで)



11月8日
市役所みなと大通り別館利用開始

IT体験コーナーや、ITを活用した事業者の育成・支援を図る拠点施設「ソーホーかごしま」が設置されたほか、環境局と経済局の事務室が移転しました。



11月9日 和田福祉館開所式
市内で41カ所目の地域福祉館がオープンしました。



11月初旬 コスモス
(都市農業センター)



11月1日 合併記念式典

鹿児島市と吉田、桜島、喜入、松元、郡山の周辺5町が合併し、人口60万人の新しい「鹿児島市」が誕生。市民文化ホールで開かれた合併記念式典には一般市民や招待客ら約2000人が出席しました。



11月2・3日 第53回おはら祭
今年は新市誕生を記念して行われ、合併した旧5町の踊り連を含めて、2日間で2万人を超す踊り手が参加しました。



11月5日
かごしま文化工芸村オープン
陶芸アトリエや木工芸アトリエ、自由工房などがあり、さまざまな創作活動に親しめます。



10月25日
コアラ来園20周年
(平川動物公園)



10月1日
みんなでまちを美しくする条例スタート
空き缶や吸い殻など、ごみの投棄(ポイ捨て)や犬のふんの放置などがない美しいまちをつくるため、新たな条例が制定されました。



10月16日
鹿児島ふれあいスポーツランドオープン
屋内プール、屋内運動場、芝生広場、クレー広場、ジョギングコースなどが整備され、気軽に心身のリフレッシュや健康づくりを楽しめる総合公園が完成しました。



昼休み、生徒たちと一緒に体を動かす。「教室ではおとなしい生徒もサッカーを通して英語を楽しみながら覚えようとしてくれます」

自分の国から 出てみたかった

松元中学校のALT（外国語指導助手）を勤めるジェームズさん。

自分の性格を「独立心が旺盛で、子どもたちが好き」と語る。ALTになつたのは、自然な流れのようだ。

ジェームズさんが鹿児島に来るのは、昨年の8月初め。海辺で暖かい、そんなあることに似ている鹿児島で働きたいと思い、自分で選んでやつて来た。桜島や錦江湾など

ど美しい風景が気に入つたが、鹿児島のどこに配属されるかは分からぬ。「街の中心は避けたかった。だけど、そこに簡単に行ける場所に住みたかつたんです。松元はそんな条件にぴったり当てはまる街だったのです、ラッキーでしたね」。

ジェームズさんは、終始にこやかで優しい雰囲気を持つた人。一緒に働く先生は「初めの印象と変わらないです。やっぱりイギリス人、とても紳士的ですね」と語る。

ふるさとは 小さなバッキンガム

イングランド南部のイギリス

海峡に面した街「ペイントン」がジェームズさんのふるさと。イギリスで一番大きい水の公園があり、その中に10～15種類のウォータースライダーがある。夏には、人口が2倍近くにも増える。「古いたいタップのマンショング多いため、ハリウッドから撮影が来たんですよ。

ALTの仲間と映画に行つたり、地域行事に参加したりと鹿児島の生活を楽しんでいる。

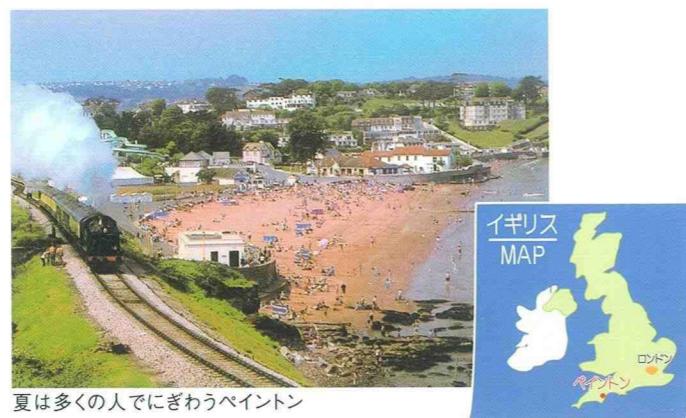
言葉が分からない 環境は楽しい

鹿児島に来て半年。休みの日は、

ALeTの仲間と映画に行つたり、買い物。品物の見分けができる。ある日ゼリーのドリンクを買ひに行き、間違つて買つたのがいちごジャム。気づかずそのまま飲んでしまつた。「ストロベリージャムは嫌いじゃないけど、やっぱり飲むと気持ちが悪くなりますね」。

マスコミ関係の 仕事がしたい

ジェームズさんの将来の夢は、マスコミ関係の仕事をすること。留学先のアメリカではテレビ局で働き、地元ではラジオのDJをしていた。今は、地元の新聞社から、日本での生活を記事にしてほしいと依頼され、作成中である。「3年はALTとして働きながら鹿児島にいたいです」と語るジェームズさんの記事は、すばらしい経験がたくさん詰まつたものになるだろう。



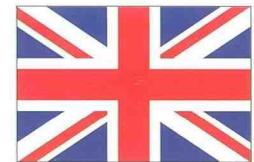
夏は多くの人にぎわうペイントン



紳士の国熱血先生。鹿児島で頑張る!

【イギリス出身】
ダニエル・アレクザンダー・ジェームズさん

Hello
KAGOSHIMA



東郷平八郎像

文維新ふるさと館
福田 賢治



日本を救つた薩摩魂

今年は日本海海戦百周年にあたる。東郷平八郎元帥はネルソン(英)をもじのぐ世界史上最高の海将として国際的に知られています。

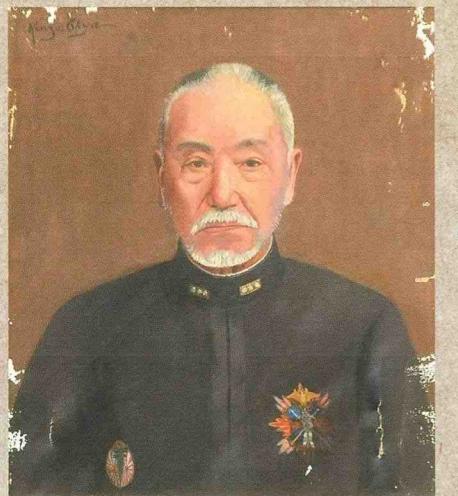
「海より来たる敵は海にて防ぐべし」の名言通り、明治三十七年(一九〇四年)ロシアの太平洋艦隊を撃破。翌年、旗艦三笠から「皇國の興廢この一戦にあり。各員一層奮励努力せよ」と乙旗を掲げ、有名な「丁字戦法」によつて、バルチック艦隊を全滅させました。

桜島を眼前にして錦江湾を一望する祇園之洲多賀山の高台に、昭和三十二年(一九五七年)旧海軍関係者の「かもめ会」によって、雨宮光平(福井市出身)作の東郷平八郎銅像が岡山県郷土館から移設された。かつて、十六歳の若さで、父や兄たち一家四人で薩英戦争に参加し、海軍への道を歩むきつかけともなった錦江湾での戦いを懐かしむかのようにして立つ。銅像の築山は、艦の梯子をまねて急斜面の造りとなつており、東郷平八郎が艦橋に立つて海を見ている姿をイメージしている。

東郷平八郎は弘化四年(一八四七年)父吉佐衛門、母益子の四男として加治屋町(鹿児島中央



5月に憲政記念館で開催される「明治と外交と議会政治特別展～日露講和100年～」で肖像画と一緒に展示する本人着用の礼服



高校内に誕生地碑)に生まれた。明治四年(一八七一年)、西郷の推薦を得てイギリスに留学、西南戦争翌年の明治十一年(一八七八年)帰国したが、師と仰ぎ尊敬する西郷が賊名を浴びてゐるのを悲しみ、西郷の分まで国に忠誠を尽くすことを決意したといふ。

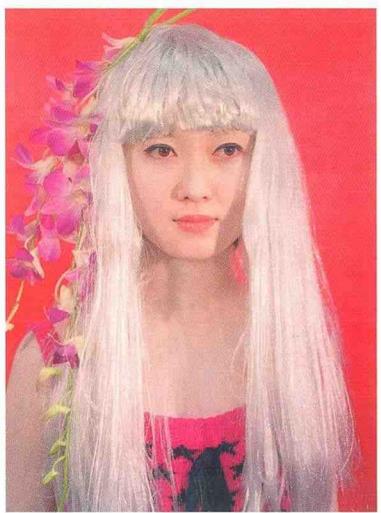
帰国後、生麦事件でイギリス人を斬つた海江田信義の長女テツ子と結婚、軍艦副長や艦長を務めたが健康を害して療養、明治二十八年(一八九四年)の日清戦争では、連合艦隊司令長官伊東祐亨(清水小学校内に誕生地碑の下で浪速の艦長として活躍し、少将に昇進した。日露戦争

では、海軍大将として当時の海軍大臣山本権兵衛(加治屋町出身)の選任により連合艦隊司令長官として活躍、歴史に残る大勝利を収めた。連合艦隊は三つの艦隊からなり、その司令長官は、いずれも鹿児島出身者で占められていた。まさに「海の薩摩」といわれるにふさわしい活躍であった。

東郷平八郎は、昭和九年(一九三四年)五月三十日、八十八歳で亡くなり、国葬によつて遺体は東京の多摩墓地に葬られた。多賀山の銅像近くには遺髪を納めた墓があり、その墓は、南洲墓地にある西郷隆盛の墓と全く同じ型同大のものとなつてゐる。

「Face」

松陽高等学校美術科写真専攻生徒作品



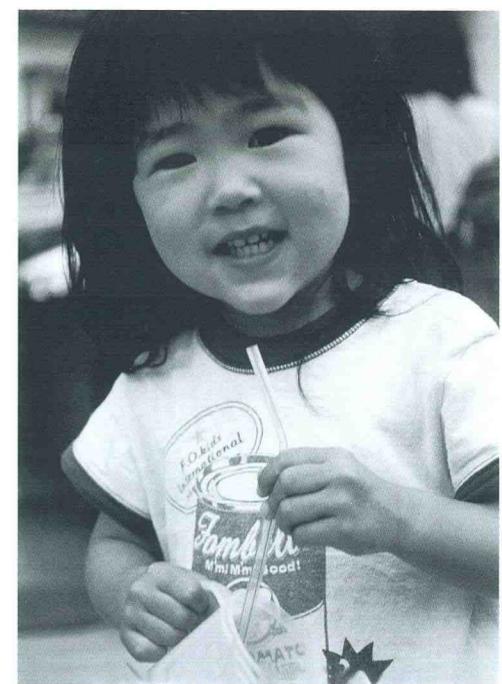
現王園 さやこ



坂元 由貴



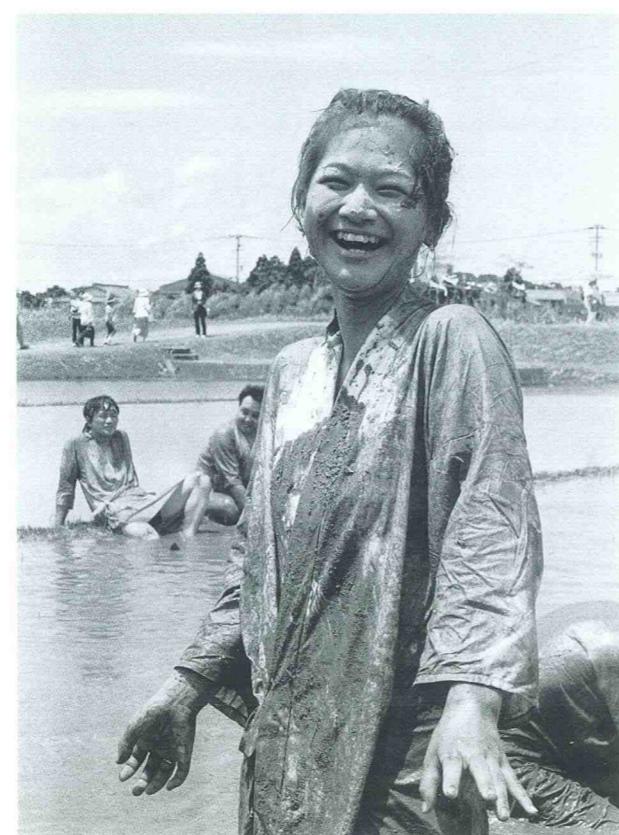
有川 ひとみ



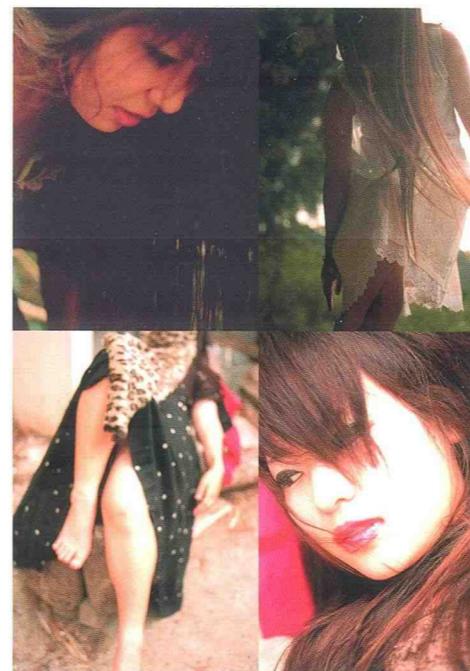
迫 知世



川原 咲子



荻 由美佳



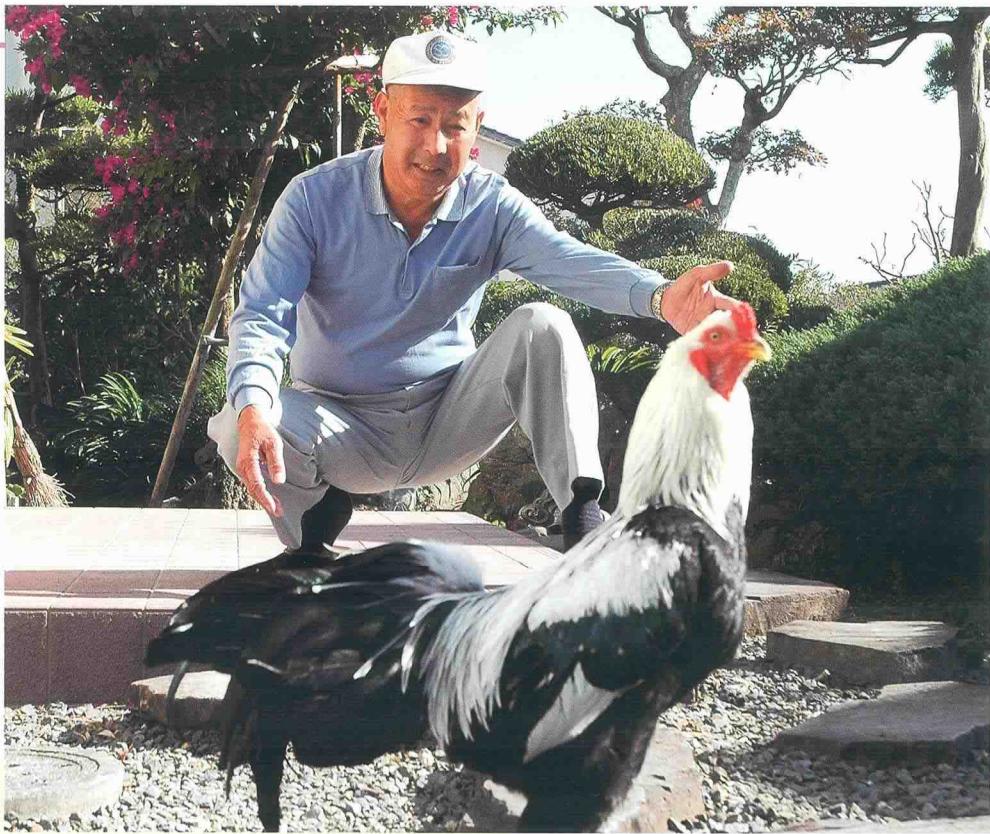
現王園 さやこ



荻 由美佳

薩摩鶏

前田 孝さん



今年は酉年。鹿児島が誇る天然記念物・薩摩鶏は美しい姿と荒々しい気性が愛され、江戸時代から飼育されている。鋭い眼光と威風堂々たるその姿にはサムライの風格がある。

よかTIME
YOKAタイム

飼育を始めたきっかけは

父親が家で飼っていて、自然と私も好きになりました。鶏の世話をしたり、その姿を飽きず眺めていたものです。中学を卒業したら、薩摩鶏保存会に入会しました。最年少でした。それほど熱中してました。

薩摩鶏の魅力とは

スキを見せない鋭い眼、美しい羽やくちばし、長い足など勇壮なその姿でしょうか。性格は荒々しくて闘争心おう盛です。オスはメスをいたわり、エサも先に食べさせたりする一面もあるんですよ。何か薩摩隼人に通じるものがありますね。

保存会ではどんな活動を

県内の会員数は約130人。春には自慢の鶏を持ち込んで美しさを競う品評会を行います。昔、闘鶏の際は爪に剣を付けて闘わせていましたよ。文字通りの真剣勝負でした。

あなたにとつて薩摩鶏とは

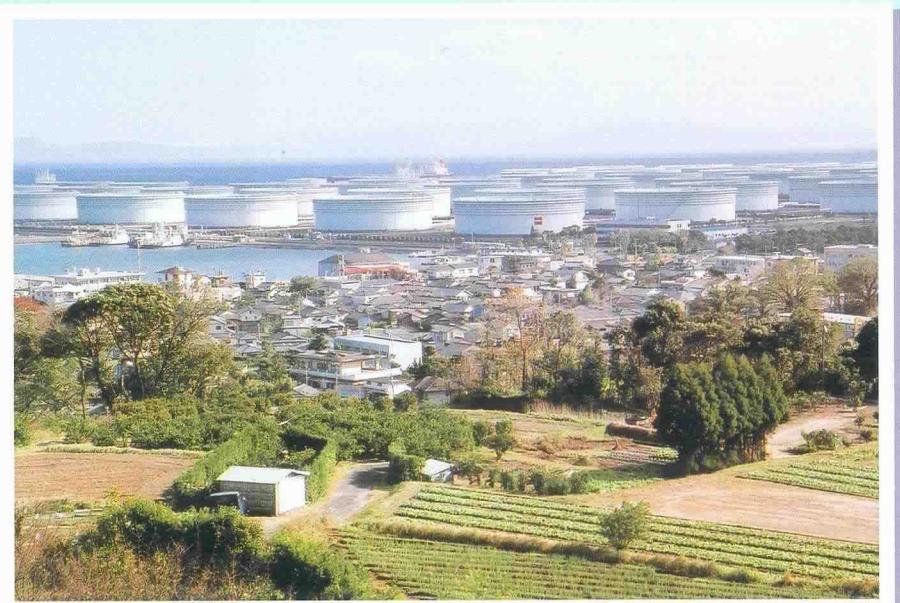
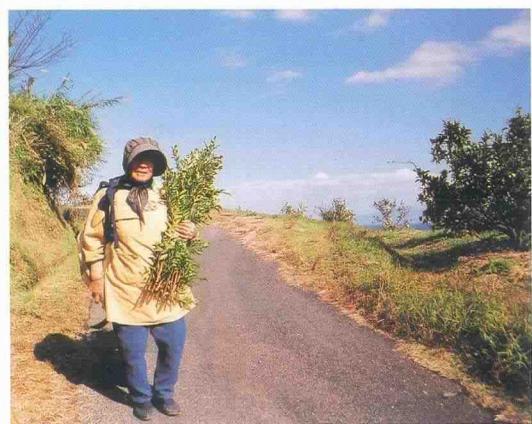
飼ううちに親子に近い愛情を感じます。飼い主をも威嚇するという「親しき仲にも緊張感あり」の関係も好きです。武士の時代の気風を残す薩摩鶏の勇姿を後世に伝えるため、今後も育てていきたいですね。

薩摩鶏の代表種、赤雀と太白



街角ウォッチング

～喜入中名町～



味じまん

「もつ鍋」

「豆腐と野菜のサラダ」

弟子丸さんファミリー
[本名町]



家庭の数だけ食卓があり、家庭の数だけ語らいがある。テーブルに広げられた自慢の料理は、家族の笑顔を演出する。

鹿児島市内におよそ25万8千世帯。一人から大家族まで食卓の風景はさまざま。わが家の味は家庭をどのように彩つているのだろうか。

「今日は夫が作つたもつ鍋です」と和子さん。夫の宗一さんは、おでんともつ鍋が得意料理。食べたくなつたら、市場に行つた帰りに材料を買つてきて作る。

弟子丸さん一家は専業農家。主にサントウサイを作り、ほぼ毎日市場に出荷する。食卓に並ぶ野菜は、自家製のものが多い。和子さんは、「新鮮な野菜が食べられます。それに、自分で作つているので安心です」。

家族みんな、お客様を呼んで会食するのが好きという。この日は、近くに住む娘さんの夫、山下祐二さんと孫ひかるちゃんがお客様。祐二さんと宗一さんが一緒に焼酎を飲む様子は親子のよう。

もつ鍋から次々と口に運んでいるのは高校生の一幸さん。サッカー部の練習から帰ってきたばかりで、おなかはペコペコ。食事中は、サッカーの話題も自然と多くなる。

今回のレシピ

「もつ鍋」

1. 材料(4人分)

もつ500g、魚すり身だんご300g、豆腐1/2丁、キャベツ1/4個、ニンジン1/4本、ミズナ1/2束、シュンギク1/2束、ニラ1束、ネギ(大)1本、マメモヤシ1袋、モヤシ1袋、シイタケ(大)2個、エノキダケ1袋、もつ鍋スープ1パック、調味料(風味調味料少々、みりん少々、ゆずとうがらし少々、ニンニク1個)



2. 調理手順

- ① もつを水で煮て油抜きする。
- ② 材料を適当な大きさに切る。
- ③ 鍋にスープと調味料を入れ、①のもつ、ニラを入れてしばらくおく。
- ④ ③を火にかけ、材料を入れて煮る。

「豆腐と野菜のサラダ」

1. 材料(4人分)

豆腐1/2丁、カニかまぼこ4本、ミズナ1/2束、ダイコン150g、キュウリ1本、レタス4枚、市販のドレッシング

2. 調理手順

- ① 豆腐を2センチ角、カニかまぼこを乱切り、ミズナを4センチ、ダイコンを千切り、キュウリを輪切り、レタスは適当な大きさにちぎる。
- ② ①を皿に盛り、好みでドレッシングをかける。



もつ鍋は、何から食べようか迷うほど具だくさん。自慢の野菜がたっぷり入っている。ピリッと/orするスープ。「ゆずとうがらしを入れています。いつもはキムチを入れますが、今日はひかるも食べられるようにキムチ抜きです」と宗一さん。いつもみんなが喜んで食べられるように気配りしている。

もつ鍋で温まってきたところで、サラダを食べてみた。ふわっとやわらかい豆腐に、パリッとしたミズナとダイコンの組み合わせ。野菜の冷たさが気持ちいい。

ひかるちゃんは1歳。最近話し始め、言葉が増えてきた。ひかるちゃんの行動一つ一つにみんなの和やかな笑いが広がるなか、食事は進んだ。

鹿児島女子高等学校

「玉里邸茶室付庭園」



鹿児島市指定文化財(名勝)

玉里邸は島津家第27代斉興が1835
なりおき
(天保6)年に別邸として造営しました。1877(明治10年)の西南戦争で建物は焼けてしまい、その後、島津久光が再建したもの、太平洋戦争で再び焼け、庭園・茶室・武家長屋だけが残りました。

本校敷地内には内庭と下庭園(玉里邸茶室付庭園)が現存し、下庭園は池を中心とした回遊式の大名庭園として全国的にも注目されるものです。回遊式庭園は庭に表裏がないことが特色で、どこから眺めても風趣を損なわない美しい景観に往時がしおれます。

庭園は本校の生徒が毎日清掃とともに、学習活動とも深く結びついていて、生徒たちは庭園を通して島津氏と日本史

を学び、庭園の中で俳句を詠み、樹木を観察し、油絵を描きます。また茶室は茶道部が部活動で使わせてもらっています。

高校生という多感な時期に、学校にこのような文化的価値の高い、緑多い庭園があることはとても恵まれています。生徒たちが庭園を散策して、心を落ち着かせ、自分を高めてほしいと願っています。

(校長 末永 皓久)



茶室は文化祭で一般に開放される



「桜島支所周辺」

昨年11月1日に合併するまで旧桜島町役場が置かれた桜島支所付近。桜島の北岳の斜面に開けた畑作地帯には花きや野菜などのハウス栽培が点在し、また、桜島大根・桜島小みかんなどの特産品が植えられ、農業がとても盛んです。支所のある藤野地区から南西方向の赤生原海岸付近には、ハマチやカンパチの養殖いけすが見えます。その景観とともに豊かな海の恵みを受けています。写真上方には、海を隔てて鹿児島の市街地が広がっています。桜島港から鹿児島港へは24時間運航でフェリーが行き来し、とても便利です。

これから、合併により全島一体となつた観光や農林水産業の発展が期待されます。

わが町上空



市民フォト

鹿児島

NO.99

編集・発行／鹿児島市広報課

鹿児島市山下町11番1号

電話 091-111-33

印刷・レイアウト／渕上印刷株式会社



R100

この広報誌は、古紙配合率100%の
再生紙を使用しています。